

(提案書 様式①－ 1)

協働の機会提案書(新規提案用)

平成 29 年 7 月 25 日

印西市長 板倉 正直 様

(登録者) 登録番号 29-001

名 称 NPO 法人アンサンブルはなみずき

所在地 印西市小林浅間 3-14-1

代表者 當流谷 繁

⑩

連絡先

企画提案型協働事業を、下記のとおり提案します。

提案事業名	小中学生に全国屈指の吹奏楽を提供する
現状・課題 (指定テーマ型の場合はテーマ名のみ記入)	印西市は「住みよさランキング 2017」で 6 年連続日本一住みよい地域とされています。 <u>「印西市文化芸術の振興に関する基本方針」</u>によりますと 「ひと まち 自然 笑顔が輝く いんざい」 「心に豊かさをもたらす文化の保護と振興をはかる」 「印西市教育大綱」では 「生きる力を持ち未来を拓く子供を育む」として、附帯事項では 「音楽などの芸術教育の備品等の環境を、計画的に整備していきます」とあり、実際に昨年度から楽器等の補充のための予算が執行されています。 結果として、ハード面では充実しつつあるものの、ソフト面に於いては、顧問の先生方や生徒、保護者の直接的な関係者の努力のみならず、私たちのような市民活動団体の協力が求められていると思います。 市内の全中学校にはそれぞれ吹奏楽部があり、いくつかの小学校には金管バンドがあります。それぞれの生徒は日々練習に励んでいます。伸び盛りの子供達は夢・希望を抱いているものの、明確な目標を持たずに、あるいは正しい練習をせずに大事な時間を過ごしていると思われる。 私たちは、印西市の小中学生にも地域に相応しい文化、スポーツ面での活躍を期待し、充実した学校生活を送っていただきたいと思います。

提案理由	小中学生の部活動が置かれている現状に鑑み、私達は音楽系のNPOとして、小中学生に演奏の手本となる吹奏楽を直に感じてもらうことにより、大きな目標を持ち、目標を明確にして大事な時間を有意義に過ごしてもらえよう、本事業を提案します。
提案内容 (予算の概算も記入)	印西市の生徒たちに千葉県内のレベルの高い高等学校吹奏楽部の演奏や練習を体感してもらい、自身の可能性を高め、明確な目標を持って毎日の練習に活かしてもらう。 その実現のため、習志野市立習志野高等学校吹奏楽部及び柏市立柏高等学校吹奏楽部の印西特別公演を開催します。市立習志野は2018年6月に文化ホールで、市立柏は翌2019年3月に松山下運動公園のアリーナで行います。さらに、年度内に市内中学校の吹奏楽部員に実績のある県内の中学校との合同練習の機会を用意します。 費用総額は約250万円となります。
貴団体の特性、協働 で実施するメリット (提案者が事業実施できる能力や有利なアピールポイント)	昨年、<u>市制施行20周年記念事業</u>として柏市立酒井根中学校吹奏楽部を印西市に招き、今年は<u>印西市まちづくりファンド</u>の事業として松戸市立第四中学校吹奏楽部を招いて事業を行っています。 当NPOの代表は吹奏楽連盟の役員としても活動しており、全国レベルの指導者とも意見交換しており、そのなかで柏市立柏高校をご指導されている石田修一先生からこの2校を推薦いただいて実施に至りました。 ご来場者のアンケートからは「継続して実施して欲しい」旨の回答が多くを占めており、20周年記念事業がきっかけで2年連続で実施してきたことが多くの市民の方々にご理解いただいていると思います。 この2つの事業はNPOとして未経験でありましたが、市教育委員会、市民活動推進課、市民活動支援センター、関係する市民団体の皆さんの協力を得て、計画、準備、実施、報告まで完遂することができました。これが大きな自信となり、来年度は規模を拡大し実施するため「協働」として提案させていただきました。

事業実施により 得られる効果 (自由提案型は今後の 展望も記入)	日本一住みよい印西市の市内小中学生が日本の最高水準の吹奏楽に触れることにより、目標を高く持ち、日々の練習に自発的に取り組む姿勢が出ます。ひいては音楽のみならずどのようなことにでも努力することの意味と素晴らしさを実感し、これからの成長の一助となります。 また、広く市民や保護者が部活動に理解を深め、支援の輪が広まることが期待できます。 将来印西市が、柏、松戸、習志野地区のような吹奏楽の盛んな地域となり、日本を代表するような中学校吹奏楽部が誕生してくれることを期待しています。
---	--